

# 決算説明資料

2026年3月期  
第2四半期（中間期）

Code:6912

2025年11月



**KIKUSUI HOLDINGS**  
菊水ホールディングス株式会社

当社グループの紹介

P 3～

2026年3月期 第2四半期（中間期）連結業績概要 P13～

2026年3月期 連結業績予想 P24～

# 当社グループの紹介

|                             |  |            |
|-----------------------------|--|------------|
| <b>社名 ( 銘柄コード )</b>         | 菊水ホールディングス株式会社 (6912)  |            |
| <b>設 立</b>                  | 1951年 (昭和26年) 8月8日   |            |
| <b>資 本 金</b>                | 22億125万円 (3月決算)  |            |
| <b>発 行 済 株 式 数</b>          | 9,900,000株 (1単元株数100株)   |            |
| <b>事 業 内 容</b>              | グループ会社の経営管理 等  |            |
| <b>大 株 主<br/>(自己株式は含まず)</b> | 菊水取引先持株会 11.6%<br>株式会社ケーティーエム 10.9%<br>菊水従業員持株会 4.6%<br>株式会社みずほ銀行 4.3%<br>小林寛子 4.2%<br>日本生命保険相互会社 3.6%<br>アジア電子工業株式会社 3.5%<br>ケル株式会社 2.6%<br>株式会社三菱UFJ銀行 2.6%<br>橋本幸雄 2.3% |            |
| <b>代 表 者</b>                | 代表取締役社長 小林一夫   |            |
| <b>従 業 員 数<br/>(当社グループ)</b> | 345名 (2025年9月末現在)<br>研究開発 88名 [+8]<br>生産・購買 100名 [+5]<br>営業 121名 [+1]<br>管理 36名 [±0]   | [ ] は前年比増減 |



●は海外代理店

## 菊水ホールディングス株式会社

本社 (神奈川県横浜市都筑区)

## 関連子会社

菊水電子工業株式会社 (神奈川県横浜市都筑区)

2022年4月設立 連結 出資比率: 100%

営業所: 横浜、仙台、さいたま、名古屋、吹田、福岡 (出張所)

菊水エムズ株式会社 (山梨県南都留郡富士河口湖町)

2022年4月設立 連結 出資比率: 100%

菊水貿易(上海)有限公司 (中国 上海市)

2006年6月設立 連結 出資比率: 100%

KIKUSUI AMERICA, INC. (米国カリフォルニア州トーランス市)

2004年10月設立 連結 出資比率: 100%

Kikusui Electronics Europe Gm b H (ドイツデュッセルドルフ市)

2023年7月設立 ※菊水電子工業株式会社 子会社

KIKUSUI ELECTRONICS INDIA PVT LTD (インドカルナータカ州ベンガルール市)

2025年7月設立 ※菊水電子工業株式会社 子会社

フジテック株式会社 (山梨県南都留郡富士河口湖町)

1986年6月設立 ※菊水エムズ株式会社 子会社

**1951** 昭和26年  
株式会社菊水電波設立  
8月8日、東京都大田区馬込にて  
資本金30万円、役員4名、従業員6名で発足  
主要製品はラジオ用ダイヤル

**1957** 昭和32年  
ダイヤルから  
測定器メーカー菊水へ  
計測器がダイヤルの売上を上回る  
OEMのトランジスタラジオも生産

**1961-62** 昭和36~37年  
菊水電子工業株式会社  
へ社名を変更  
専ら電子計測器の生産に専念する

**1966-68** 昭和41~43年  
第一次買達の年  
計測器の買付けが本格化し、計測器の生産に専念する

**1971-74** 昭和46~49年  
創立20周年  
第一次買達の年  
名古屋、東京に支店開設  
電子計算機の導入

**1981-82** 昭和56~57年  
米空軍との大型商談  
オシロ7160台(23億円)  
オシロの輸出として世界最大の取引に  
成功、事業所増設

**1985-88** 昭和60~63年  
オシロスコープCOM3000シリーズ  
キットデザイン産業機械部門  
大賞を受賞した  
オシロスコープ  
COM3000シリーズ  
オシロスコープ COM7000シリーズ  
高機能のオシロも広範囲に  
とんだ日本語が導入されたソフト製品

**1989-91** 平成元~3年  
株式店頭公開  
西東京営業所 開設  
専属物流会社  
ケイアールシー株式会社設立

**1995** 平成7年  
ISO9001 認証取得  
当社公式ホームページ開設  
全国営業拠点をオンライン化

**2000-01** 平成12~13年  
ISO14001 認証取得  
IT(パル)部門による業務効率化の中  
に立ち上げた新事業「ISO14001」  
4製品が2001年グッドデザイン賞を受賞

**2002** 平成14年  
上海に駐在員事務所開設  
中国でのサポート体制拡充へ  
購買EDI(電子発注システム)  
「Gkup」稼働開始

**2001年発売の4製品がグッドデザイン賞を受賞!**  
GOOD DESIGN AWARD 2001  
大規模電子測定器  
PAMシリーズ  
コンパクト電子測定器  
PAMシリーズ  
アナログ電子測定器  
TQ8000シリーズ  
デジタル電子測定器  
TQ8000シリーズ

**1991年11月**  
株式を店頭市場に新規公開  
公募による新株式発行数：75万株  
発行価額：2,330円/1株

1995年12月22日  
品質マネジメントシステム  
ISO9001 認証を取得  
登録証番号:QA11100

1995年6月  
立川市に  
西東京営業所  
開設

株式公開の頃の日本社(川崎市中原区)  
平成3年3月期 売上高112億、従業員数388名であった

2001年発売の4製品がグッドデザイン賞を受賞!

世界最大の工場として発展する中国!  
日系企業の現地工場が増え、  
当社としても現地サポート体制の  
拡充が急務となった。

購買EDI稼働開始!  
(購買部門別発注の電子化)

パルシステムシステム  
PP20000システム 開発

計測器業界初の快報!  
フラットデザイン産業機械部門  
大賞を受賞した  
オシロスコープ  
COM3000シリーズ  
オシロスコープ COM7000シリーズ  
高機能のオシロも広範囲に  
とんだ日本語が導入されたソフト製品

2001年発売の4製品がグッドデザイン賞を受賞!

世界最大の工場として発展する中国!

購買EDI稼働開始!

パルシステムシステム

### 2005 平成17年

燃料電池用制御技術に関する技術協力を中国科学アカデミー化学物理研究所(DICP)と締結  
HV/EV用制御技術について、パルスタック工業との協業を開始

燃料電池用制御技術の確立を目指して中国科学アカデミー化学物理研究所(DICP)と締結  
HV/EV用制御技術について、パルスタック工業との協業を開始



### 2006 平成18年

創立55周年記念式典開催  
中華人民共和国・上海市に菊水興業(上海)有限公司を設立  
PSE法<電気用品安全法>運動

創立55周年を記念して祝賀会・洋上パーティを開催



### 2009 平成21年

旧テクシオ社よりエアロフレックス社製アビオニクス製品の日本販売代理店権を継承  
中国拠点の合理化

エアロフレックス社製アビオニクス製品の日本販売代理店権を継承



### 2012 平成24年

EV自動車レース協賛 (JEVRA、バイクスEVチャレンジ) 北関東営業所移転

電気自動車によるカーレースをスポンサード



### 2013 平成25年

電力中央研究所様 PCS (i-Powerインテリジェント) 最新試験設備 大容量交流電源PCRB1000LEを導入  
Amazon販売開始

大容量シリーズを強化!



### 2016-18 平成28~30年

ソリューション製品サイト KIKUSUI mag を開設  
販促学業マガジ (AVICA2) 公開  
本社を都立テクノパーク(センター南)に移転  
技術センターを「菊水研究所センター」に改称



### 2011 平成23年

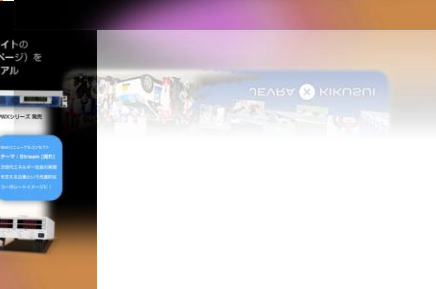
コーポレートサイトのデザイン(日本語ページ)を全面リニューアル

コーポレートサイトのデザイン(日本語ページ)を全面リニューアル



### 2011 平成23年

NEABY KIKUSUI



### 2014-15 平成26~27年

市流電源PMX-Aシリーズ  
マスクोटキャラクター Pobby 菊水興業(上海)有限公司を移転

マスクोटキャラクター Pobby



### 2014-15 平成26~27年

市流電源PMX-Aシリーズ  
マスクोटキャラクター Pobby 菊水興業(上海)有限公司を移転



### 2016-18 平成28~30年

ソリューション製品サイト KIKUSUI mag を開設  
販促学業マガジ (AVICA2) 公開  
本社を都立テクノパーク(センター南)に移転  
技術センターを「菊水研究所センター」に改称



### 2022-24 令和4~6年

会社分割による持株会社体制へ移行  
監査等委員会設置会社へ移行  
双方向大容量交流電源 (PXBシリーズ)  
大容量ワイドレンジ直流電源 (PXTシリーズ)  
大容量再生電子負荷装置 (PXZシリーズ)



### 2019-21 令和1~3年

電気安全規格試験マルチアナライザ TOS9300シリーズ  
本拠地移転(テクノパークセンター南) 菊水興業(上海)有限公司を移転  
オーディオスルーサー 68Pシリーズ





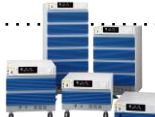







### 2022-24 令和4~6年

会社分割による持株会社体制へ移行  
監査等委員会設置会社へ移行  
双方向大容量交流電源 (PXBシリーズ)  
大容量ワイドレンジ直流電源 (PXTシリーズ)  
大容量再生電子負荷装置 (PXZシリーズ)



## < 新製品 >

## < イベント >

|   |   |                    |   |
|---|---|--------------------|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>PLZ-5Wシリーズ (電子負荷)</li> </ul>   |    | <p><b>2016</b></p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>富士勝山事業所にデモルーム開設</li> <li>Webサイト「KIKUSUI mag」開設</li> </ul>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>PWR-01シリーズ (直流電源)</li> </ul>   |    | <p><b>2017</b></p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>本社を横浜市都筑区茅ヶ崎中央へ移転</li> </ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>PCR-WE/WE2シリーズ (交流電源)</li> </ul>   |    | <p><b>2018</b></p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>菊水創発センター リノベーション工事完了</li> <li>KIKUSUI AMERICA, INC. トーランス市に移転</li> </ul>                                   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>TOS9300シリーズ (電気安全規格試験マルチアナライザ)</li> </ul>  |    | <p><b>2019</b></p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>譲渡制限付株式報酬制度を導入</li> <li>ドイツ デュッセルドルフに駐在員事務所を開設</li> </ul>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>PAN-Eシリーズ (直流電源)</li> </ul>  |    | <p><b>2020</b></p> |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>PCR-WEA/WEA2シリーズ (交流電源)</li> <li>PCJシリーズ (交流電源)</li> <li>TOS9300 ラインアップ追加</li> </ul> |    | <p><b>2021</b></p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>菊水貿易 (上海) 有限公司 北京分公司を開設</li> <li>創立70周年記念 昭和レトロ計測器Bluetoothスピーカー 3機種発売</li> </ul>                          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>PCR-WEA/WEA2 シリーズ (交流電源) フロントパネル変更</li> <li>ハイレートバッテリーテスタ PFX2731S</li> </ul>        |    | <p><b>2022</b></p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>会社分割による持株会社体制へ移行</li> <li>菊水電子工業株式会社及び菊水エムズ株式会社 2社を承継会社とする吸収分割</li> <li>菊水貿易 (上海) 有限公司 広州分公司を開設</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>双方向大容量直流電源 PXBシリーズ</li> <li>大容量ワイドレンジ直流電源 PXTシリーズ</li> </ul>                         |  | <p><b>2023</b></p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>監査等委員会設置会社へ移行</li> <li>Kikusui Electronics Europe Gm b Hを設立</li> </ul>                                     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>大容量回生電子負荷装置PXZシリーズ</li> <li>EV充電 / 放電多目的コントローラ KEV1000 シリーズ</li> </ul>               |  | <p><b>2024</b></p> |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>大容量スマート交流・直流安定化電源 PCR-WEA2シリーズ 「定電流出力 / 回生電子負荷機能オプション」</li> </ul>                    |  | <p><b>2025</b></p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>KIKUSUI ELECTRONICS INDIA PVT LTDを設立</li> </ul>  |



## 当社グループの独自性

計測技術と電源技術の両方を有していること

(微小から大電流まで、電気エネルギーを高精度で制御、測定する技術・ノウハウ)

[顧客]



## グローバルに販売展開

### 電子計測器

電気のモノサシ、産業の「マザーツール」として、家電製品、OA機器、電子製品などの「安全性」や「正確性」の測定・試験に使用されます。近年は、自動車のノイズ耐性 (EMC) に関する試験、またEV用バッテリーの絶縁性能試験の測定需要が高まっています。

EV充電/放電多目的コントローラ

耐電圧試験器

EMC試験器



### 電源機器

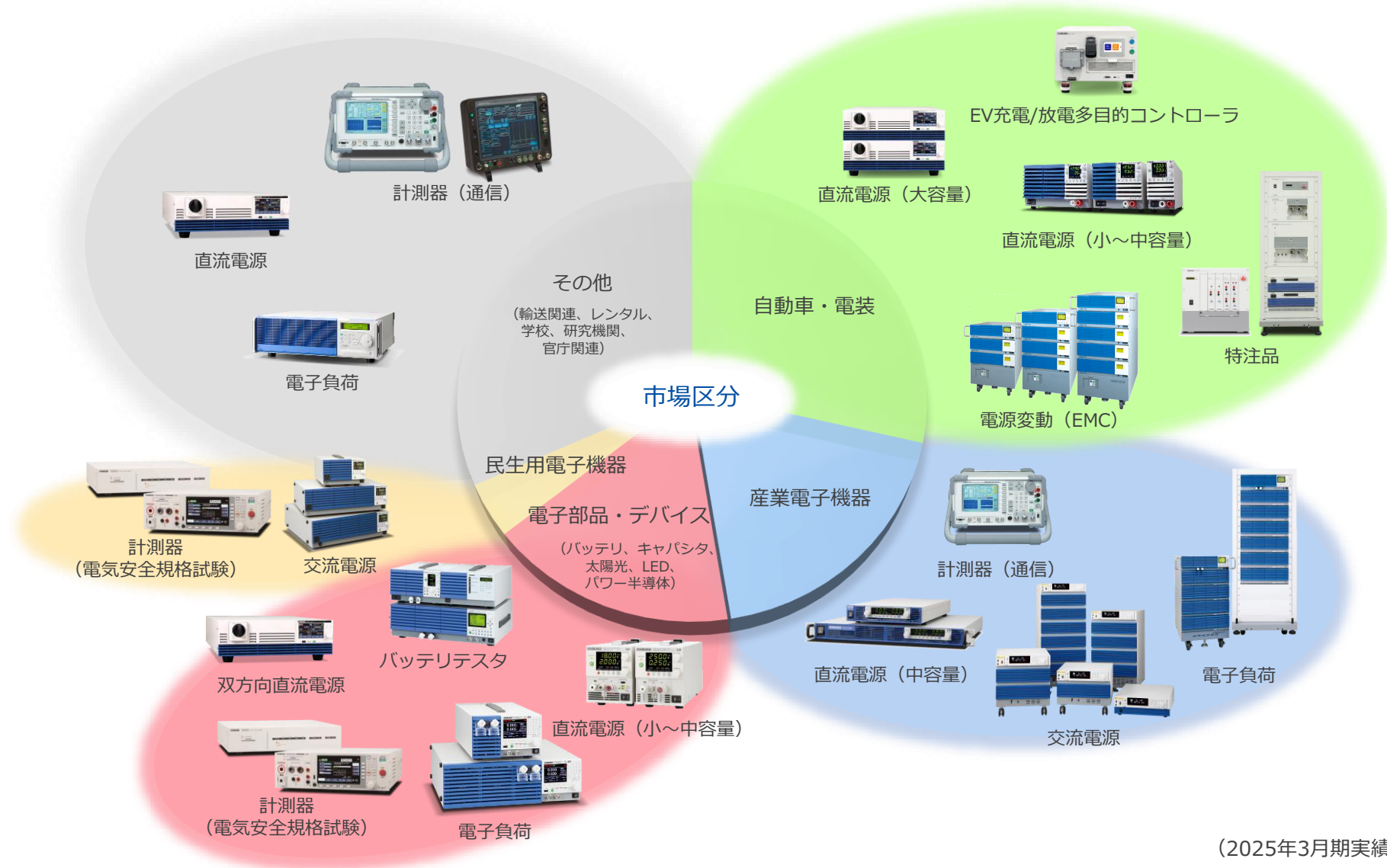
研究開発や製造工場などで、安定した電力 (直流・交流) を供給する設備として使用されます。近年は、「eモビリティ」「次世代エネルギー」「パワー半導体」「データセンター」市場を中心としたパワーエレクトロニクス分野での評価試験や製造設備用として直流電源、交流電源、電子負荷装置 (電力を消費する装置) の需要が高まっています。

直流電源

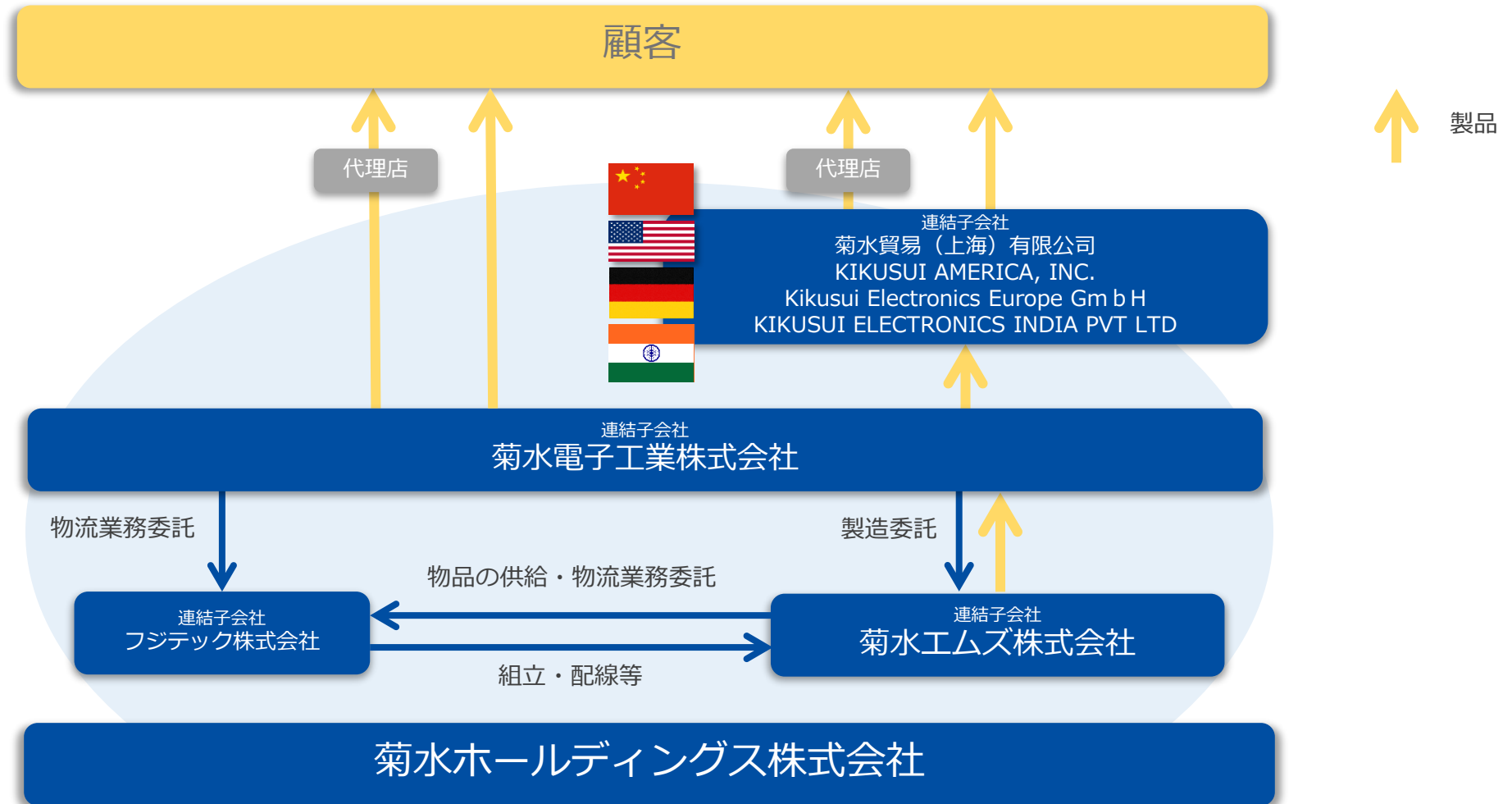
交流電源

電子負荷





(2025年3月期実績による)



## 社是

(創業の精神)

菊の如く清楚であって国を愛し会社を愛し  
水の如くいつこにもどこまでも浸透せよ



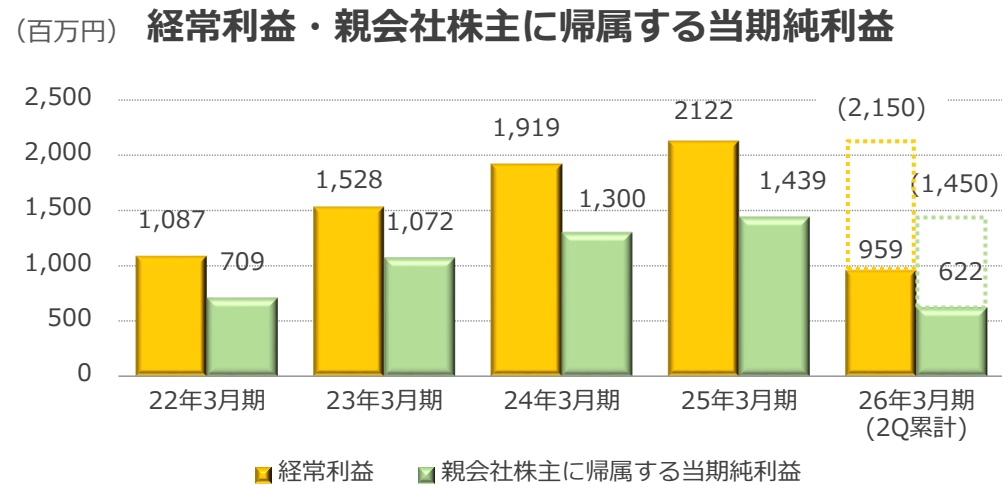
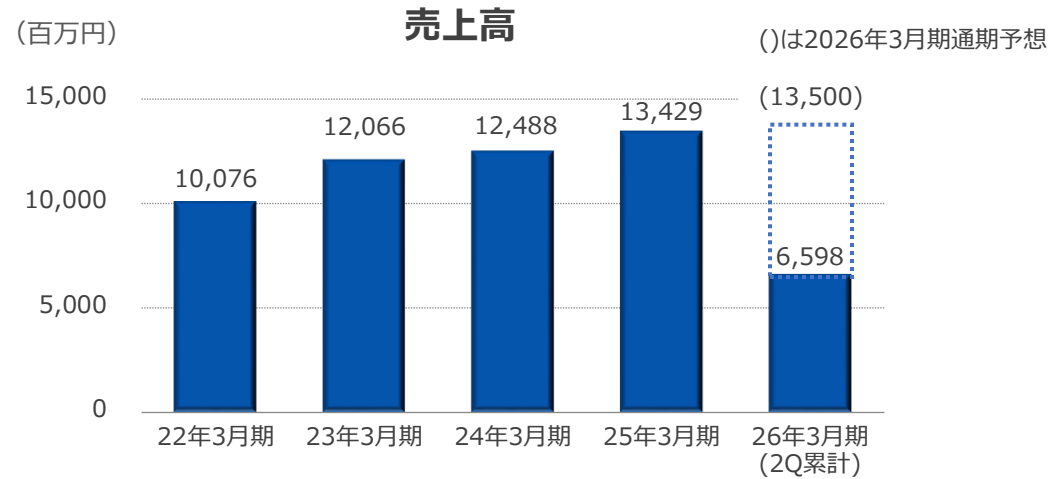
## ビジョン

私たち菊水は  
自由で豊かな発想と行動力で“創発”し  
社会と共に進化します

自由な発想と行動力で、社会と共に進化する



2026年3月期 第2四半期（中間期）  
連結業績概要



## 経営の概況

当社グループが属する電気計測器業界においては、世界各国でのカーボンニュートラル、SDGs達成に向けた取り組み等により、自動車関連市場や電池関連市場等において、また、AI(人工知能)の需要拡大に伴い、半導体関連市場やデータセンター関連市場等において設備投資の拡大が期待されております。

このような状況の中、当社グループは、「パワーエレクトロニクス分野の評価及び測定ソリューション」をテーマとして、eモビリティ、次世代エネルギー、パワー半導体、データセンターの4つの市場を重点市場として、国内外の顧客ニーズに合わせたソリューションビジネスを積極的に展開し、展示会への出展やWebを活用した販売促進活動等を進めるなど売上拡大に努めるとともに、原価低減にも努力を重ねてまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は、GX(グリーントランスフォーメーション)関連市場、車載関連市場、半導体関連市場及びデータセンター関連市場等の設備投資需要を取り込んだことにより、65億9千8百万円(前年同期比11.0%増)となりました。

損益面におきましては、海外製品の仕入コスト、ベースアップ等による人件費及び研究開発費の増加等はあったものの、売上高の増加により、営業利益8億4千4百万円(前年同期比1.3%増)、経常利益9億5千9百万円(前年同期比4.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益6億2千2百万円(前年同期比4.4%増)となりました。

|                 | 25年3月期<br>第2四半期（中間期） |          | 26年3月期<br>第2四半期（中間期） |          | 前年同期比    |        |
|-----------------|----------------------|----------|----------------------|----------|----------|--------|
|                 | 金額（百万円）              | 対売上比率（%） | 金額（百万円）              | 対売上比率（%） | 増減額（百万円） | 増減率（%） |
| 売上高             | 5,945                | 100.0    | 6,598                | 100.0    | 652      | 11.0   |
| 売上原価            | 2,797                | 47.1     | 3,260                | 49.4     | 462      | 16.5   |
| 売上総利益           | 3,148                | 52.9     | 3,338                | 50.6     | 190      | 6.0    |
| 販売費及び一般管理費      | 2,314                | 38.9     | 2,493                | 37.8     | 179      | 7.8    |
| 営業利益            | 833                  | 14.0     | 844                  | 12.8     | 10       | 1.3    |
| 営業外収益           | 86                   | 1.5      | 120                  | 1.8      | 34       | 39.4   |
| 営業外費用           | 3                    | 0.1      | 5                    | 0.1      | 1        | 45.7   |
| 経常利益            | 916                  | 15.4     | 959                  | 14.5     | 42       | 4.7    |
| 税金等調整前中間純利益     | 916                  | 15.4     | 959                  | 14.5     | 42       | 4.7    |
| 法人税等            | 319                  | 5.4      | 336                  | 5.1      | 16       | 5.3    |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 596                  | 10.0     | 622                  | 9.4      | 26       | 4.4    |
| 1株当たり中間純利益      | 71.92円               |          | 74.90円               |          |          |        |

※単位未満の金額は切捨て、百分率は四捨五入。

売上高：6,598百万円

【前年同期 5,945百万円】 **+11.0%**

経常利益：959百万円

【前年同期 916百万円】 **+4.7%**

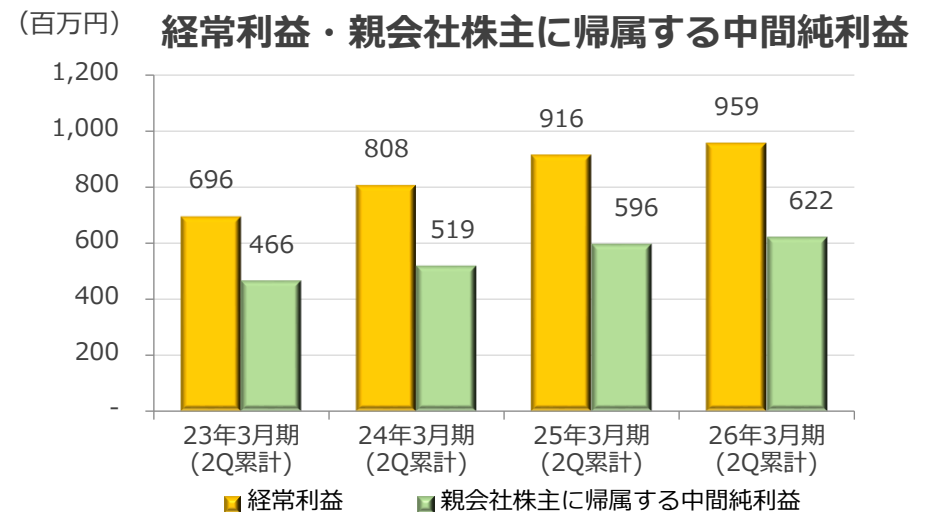
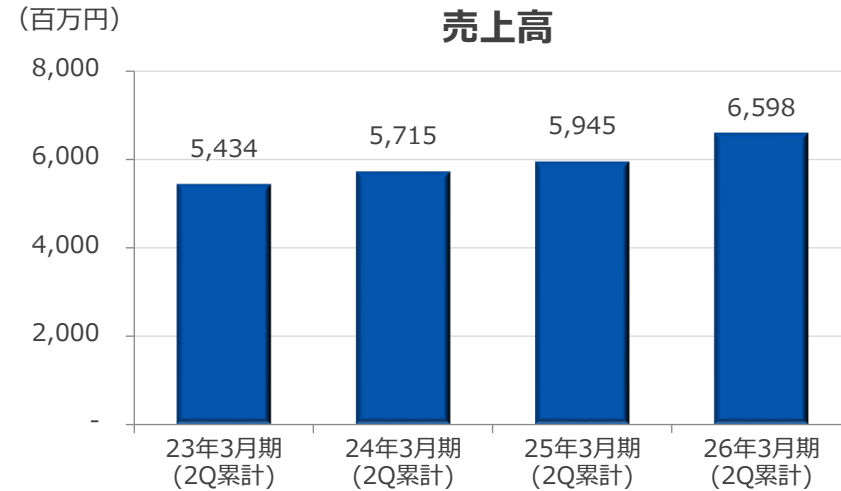
親会社株主に帰属する  
中間純利益：622百万円

【前年同期 596百万円】 **+4.4%**

「パワーエレクトロニクス分野の評価及び測定ソリューション」をテーマとして、eモビリティ、次世代エネルギー、パワー半導体、データセンターの4つの市場を重点市場として、国内外の顧客ニーズに合わせたソリューションビジネスを積極的に展開し、展示会への出展やWebを活用した販売促進活動等を進めるなど売上拡大に努めるとともに、原価低減にも努力を重ねてまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は、GX(グリーントランスフォーメーション)関連市場、車載関連市場、半導体関連市場及びデータセンター関連市場等の設備投資需要を取り込んだことにより、65億9千8百万円(前年同期比11.0%増)となりました。

損益面におきましては、海外製品の仕入コスト、ベースアップ等による人件費及び研究開発費の増加等はあったものの、売上高の増加により、営業利益8億4千4百万円(前年同期比1.3%増)、経常利益9億5千9百万円(前年同期比4.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益6億2千2百万円(前年同期比4.4%増)となりました。





## 電子計測器：1,566百万円

【前年同期 1,594百万円】 △1.8%

## 電源機器：4,778百万円

【前年同期 4,097 百万円】 +16.6%

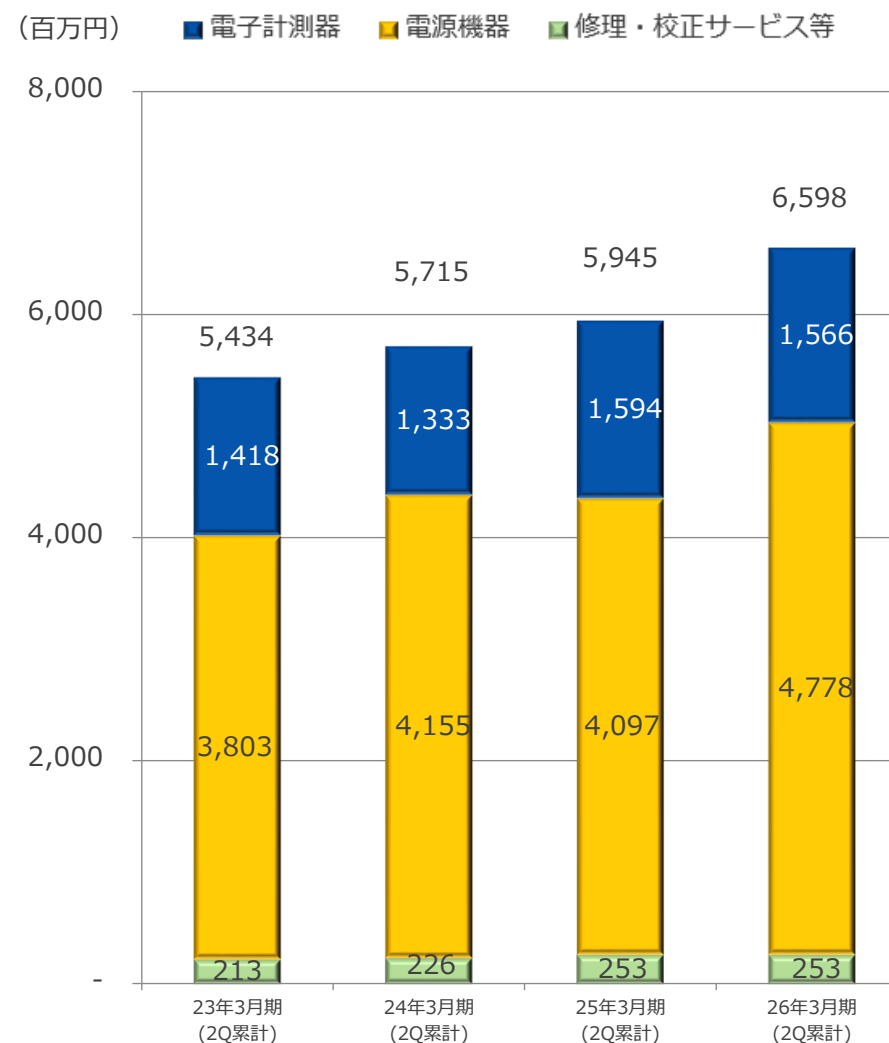
## 修理・校正サービス等：253百万円

【前年同期 253百万円】 +0.0%

電子計測器群では、安全関連試験機器は、EV(電気自動車)用バッテリーの耐電圧・絶縁抵抗試験用として電池関連市場向けに好調に推移いたしました。航空用電子機器の測定器は、航空・防衛関連市場向けに受注状況は好調に推移しておりますが、納期の谷間となり、前年同期を下回りました。  
以上の結果、売上高は15億6千6百万円(前年同期比1.8%減)となりました。

電源機器群では、直流電源は、宇宙産業市場、車載関連市場、エネルギー関連市場、半導体関連市場及び電子部品市場への評価試験や製造設備用として好調に推移いたしました。交流電源は、車載関連市場、エネルギー関連市場及びデータセンター関連市場への評価試験や製造設備用として好調に推移いたしました。電子負荷装置は、エネルギー関連市場及びデータセンター関連市場への評価試験用として動きが見られましたが低調に推移いたしました。  
以上の結果、売上高は47億7千8百万円(前年同期比16.6%増)となりました。

修理・校正サービス等では、特記すべき事項はありません。特記すべき事項はありません。売上高は、2億5千3百万円(前年同期比0.0%増)となりました。



## 製品群別売上高構成比

電子計測器：23.7%

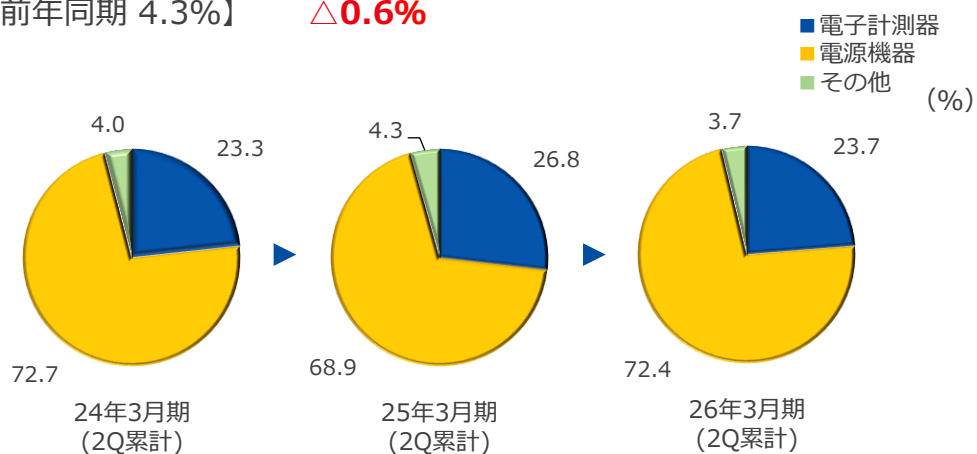
【前年同期 26.8%】 △3.1%

電源機器：72.4%

【前年同期 68.9%】 +3.5%

修理・校正サービス等：3.7%

【前年同期 4.3%】 △0.6%



電子計測器では、航空用電子機器の測定器は、航空・防衛関連市場向けに受注状況は好調に推移しておりますが、納期の谷間となり前年同期を下回ったことにより、構成比率が減少し、電源機器の構成比率が増加しました。

## 製品群別売上総利益率

電子計測器：42.0%

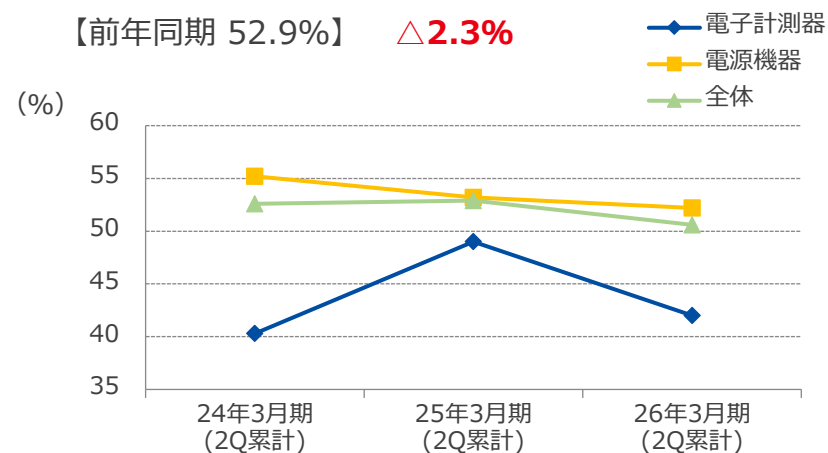
【前年同期 49.0%】 △7.0%

電源機器：52.2%

【前年同期 53.2%】 △1.0%

売上総利益率：50.6%

【前年同期 52.9%】 △2.3%



海外製品の仕入れコスト及びベースアップ等による人件費の増加等により、売上総利益率は減少いたしました。

北米：678百万円

【前年同期 464百万円】 **+46.2%**

欧州：187百万円

【前年同期 262百万円】 **△28.8%**

中国：1,046百万円

【前年同期 914百万円】 **+14.4%**

その他アジア：622百万円

【前年同期 519百万円】 **+19.9%**

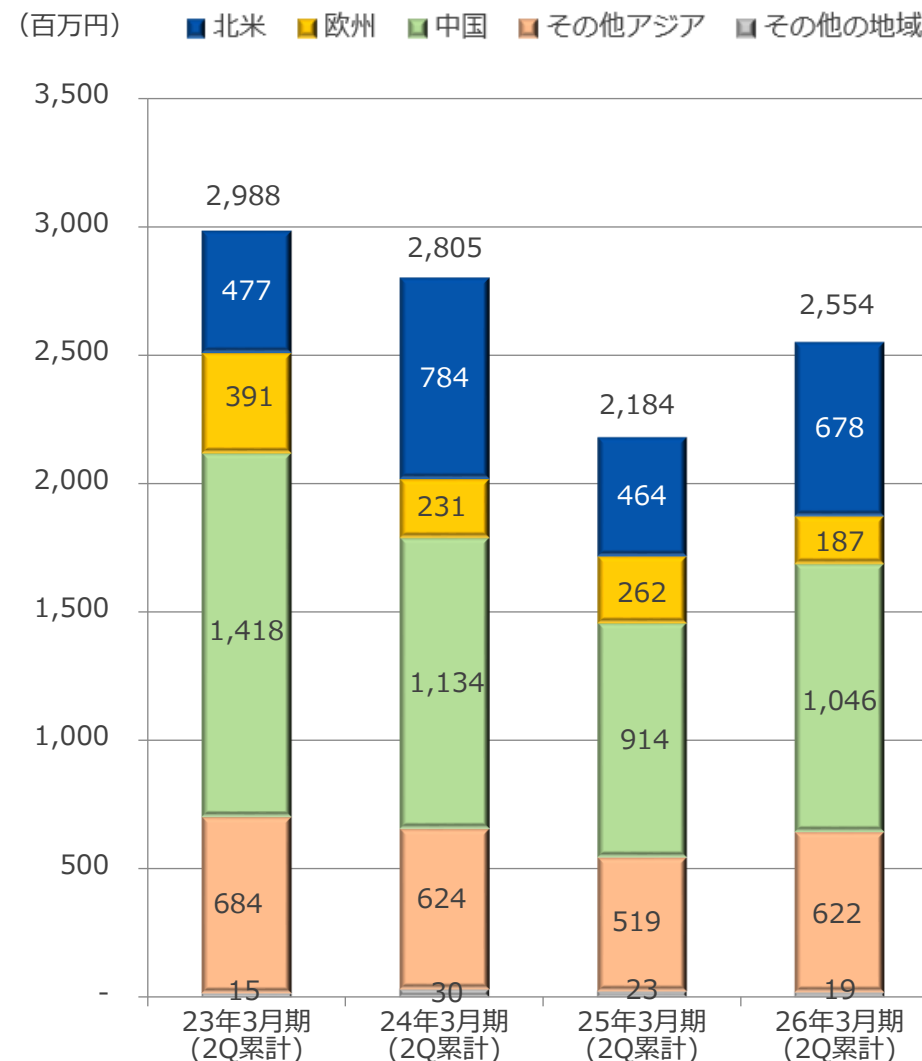
その他の地域：19百万円

【前年同期 23百万円】 **△15.0%**

海外販売高合計：2,554百万円

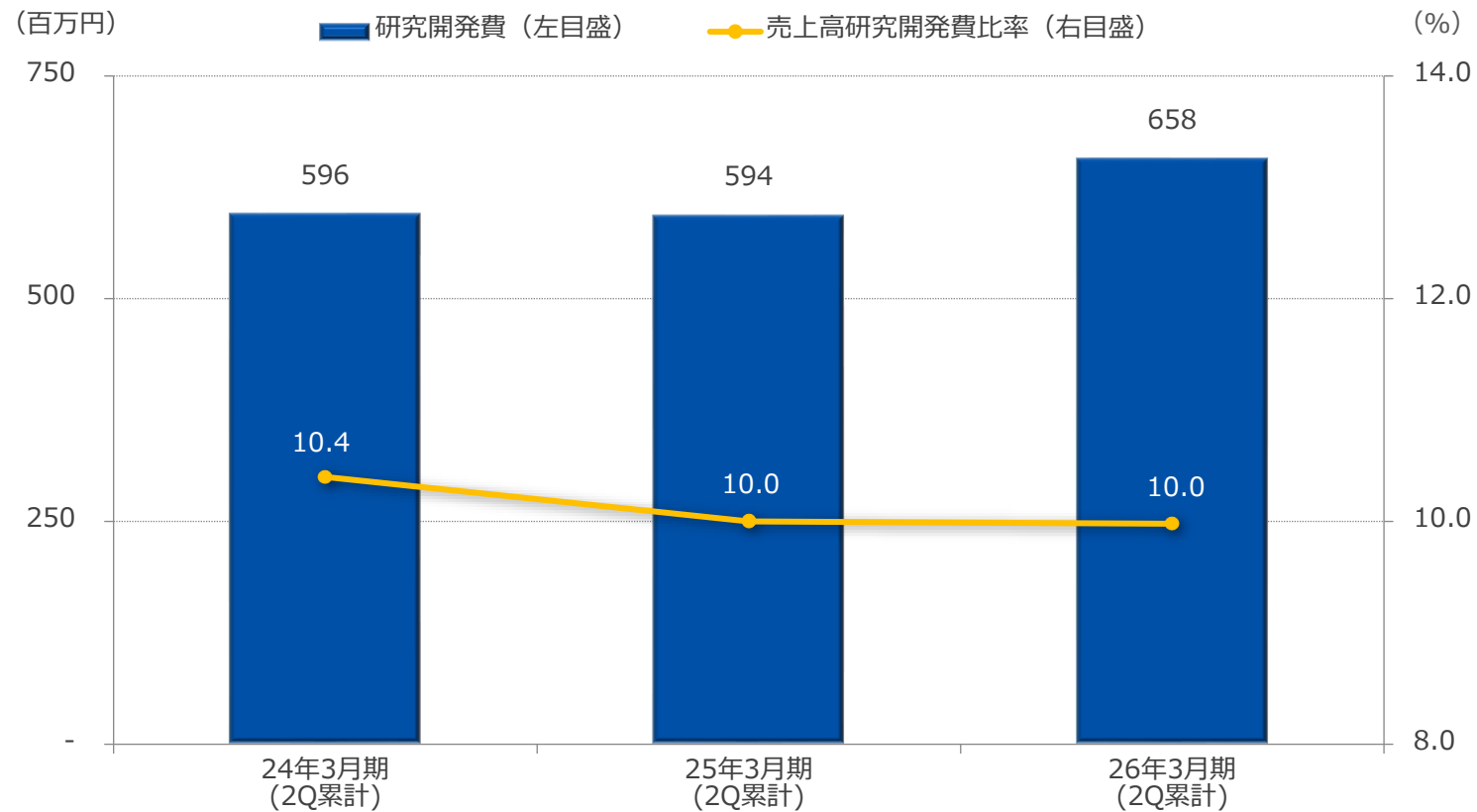
【前年同期 2,184百万円】 **+16.9%**

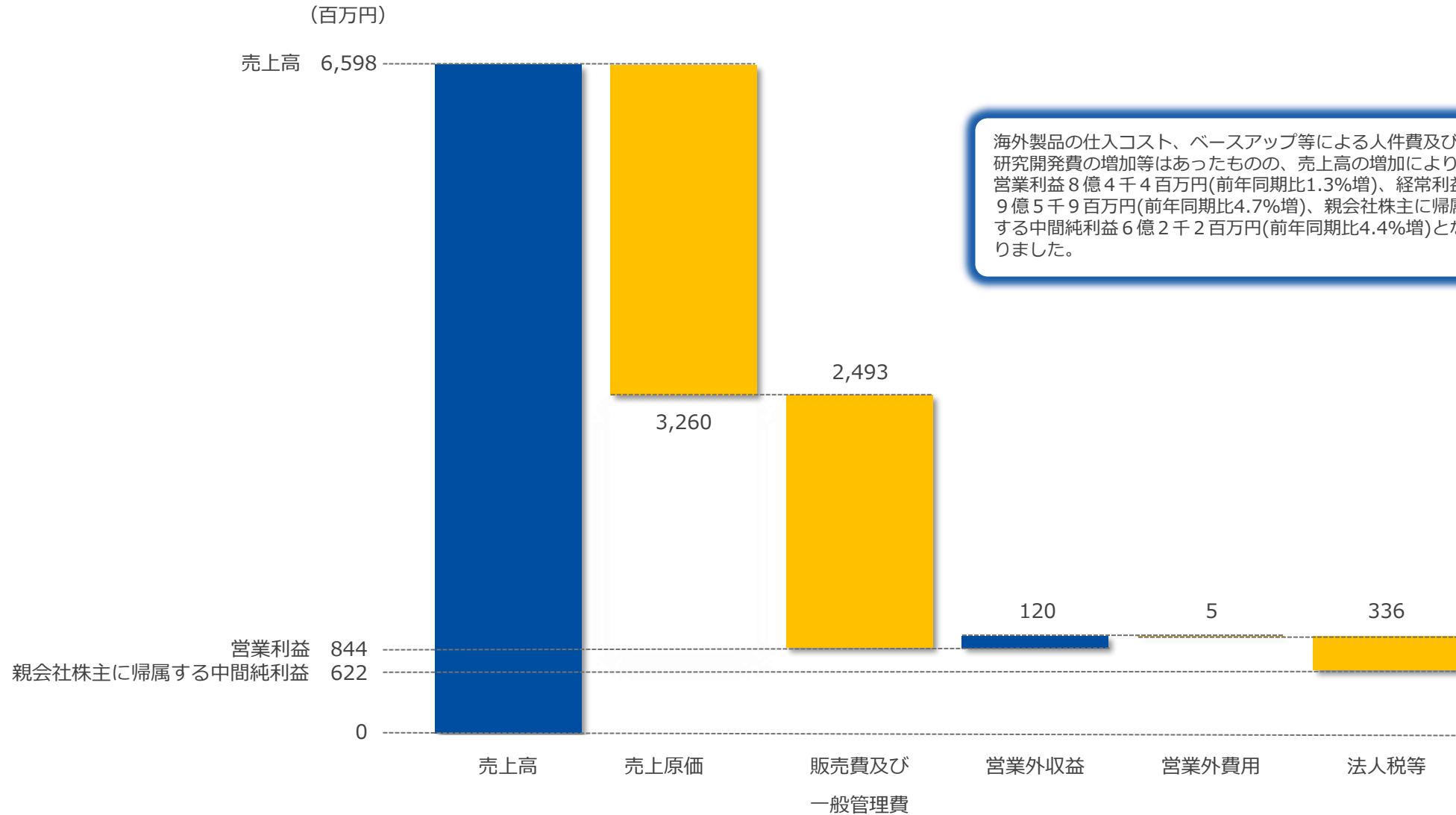
米国では、宇宙産業市場及びAI関連市場への直流電源並びにエネルギー関連市場への交流電源が好調に推移いたしました。  
 欧州では、航空宇宙関連市場への交流電源に動きがありましたが、全体的には低調に推移いたしました。  
 アジアにおいては、中国では、自動車関連市場の設備投資抑制の影響はあったものの、電池関連市場への安全関連試験器が好調に推移したことにより、前年同期を上回りました。また、韓国では、EV関連市場への直流電源が好調に推移し、東南アジアでは、データセンター関連市場への交流電源に動きが見られました。インドでは、EV関連市場及びデータセンター関連市場への交流電源が好調に推移いたしました。  
 以上の結果、海外売上高は25億5千4百万円(前年同期比16.9%増)となりました。



## 658百万円 (10.0%)

【前年同期 594百万円 (10.0%)】





(百万円)

| 【資産の部】        | 25/3/31       | 25/9/30       | 増減          |
|---------------|---------------|---------------|-------------|
| 流動資産合計        | 11,589        | 11,024        | △564        |
| 固定資産合計        | 5,861         | 6,205         | 344         |
| <b>資産合計</b>   | <b>17,450</b> | <b>17,230</b> | <b>△219</b> |
| 【負債の部】        | 25/3/31       | 25/9/30       | 増減          |
| 流動負債合計        | 2,531         | 1,830         | △701        |
| 固定負債合計        | 855           | 950           | 94          |
| <b>負債合計</b>   | <b>3,387</b>  | <b>2,781</b>  | <b>△606</b> |
| 【純資産の部】       | 25/3/31       | 25/9/30       | 増減          |
| 資本金           | 2,201         | 2,201         | -           |
| 資本・利益剰余金      | 11,435        | 11,636        | 200         |
| 自己株式          | △877          | △867          | 10          |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,302         | 1,478         | 176         |
| <b>純資産合計</b>  | <b>14,062</b> | <b>14,449</b> | <b>386</b>  |

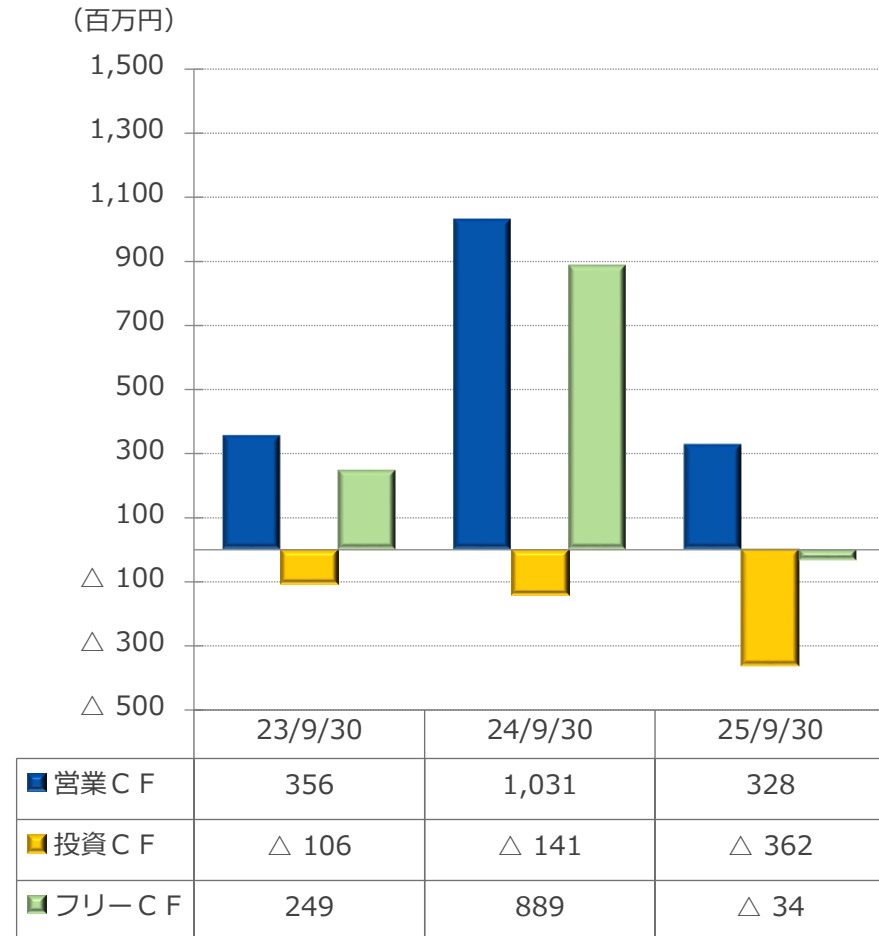
| 【CF計算書】          | (百万円) | 23/9/30 | 24/9/30 | 25/9/30 |
|------------------|-------|---------|---------|---------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー |       | 356     | 1,031   | 328     |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー |       | △106    | △141    | △362    |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー |       | △319    | △387    | △439    |
| 現金及び現金同等物の増減額    |       | △52     | 464     | △474    |
| 現金及び現金同等物の期首残高   |       | 2,646   | 3,184   | 4,707   |
| 現金及び現金同等物の期末残高   |       | 2,593   | 3,649   | 4,233   |

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益計上及び売上債権の減少等による資金の増加が、法人税等の支払額、棚卸資産の増加及び仕入債務の減少等による資金の減少を上回り、3億2千8百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の増加及び無形固定資産の取得等により、3億6千2百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い等により、4億3千9百万円の支出となりました。

現金及び現金同等物は、前連結会計年度の期末残高に比べ、4億7千4百万円減少し、47億7百万円となりました。



# 2026年3月期 連結業績予想



|                     | 25年3月期     | 26年3月期     | 前年同期比     |         |
|---------------------|------------|------------|-----------|---------|
|                     | 通期実績 (百万円) | 通期予想 (百万円) | 増減額 (百万円) | 増減率 (%) |
| 売上高                 | 13,429     | 13,500     | 70        | 0.5     |
| 営業利益                | 1,997      | 2,050      | 52        | 2.6     |
| 経常利益                | 2,122      | 2,150      | 27        | 1.3     |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 1,439      | 1,450      | 10        | 0.7     |

|              | 25年3月期   | 26年3月期   | 前年同期比   |
|--------------|----------|----------|---------|
|              | 通期実績 (円) | 通期予想 (円) | 増減額 (円) |
| 1株当たり<br>配当金 | 53.00    | 53.00    | 0.00    |

## 【 注意事項 】

本資料は、2026年3月期第2四半期(中間期)決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2025年10月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、又は約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。

### 【本資料および当社IRに関するお問い合わせ先】

菊水ホールディングス株式会社 総務部 IR担当

電話 : 045-482-6912 (代)

E-mail : [ir@kikusui.co.jp](mailto:ir@kikusui.co.jp)

URL : <https://kikusui-holdings.co.jp/>



**KIKUSUI HOLDINGS**  
菊水ホールディングス株式会社